

医療情報標準化推進協議会

第2回 理事会 議事録

日時：2001年10月30日 10:00～12:00

場所：(財)医療情報システム開発センター AB会議室

出席者：

喜多・辻 (MEDIS)、稲邑 (JRS)、大江・木村・豊田 (JAMI)、細羽、大林、吉村 (JIRA)

小寺、松井 (JSRT)、田中・尾崎・中井・前田 (JAHIS)

オブザーバ：鈴木 (JAHIS)、渡辺 (東大)、佐々木・安藤 (MEDIS 事務局)

配布資料：

- 1) 出欠名簿
- 2) 前回理事会 議事録 (案)
- 3-1) 新規入会申込書 (日本 HL7 協会)
- 3-2) 新規入会申込書、規約、JPACS NEWS LETTER (日本 PACS 研究会)
- 4) HELICS 標準規格提案の申請及び採択等 (案)
- 5) 標準医薬品マスター標準規格の採択について (依頼)
- 6) HELICS 設立総会 議事要旨
- 7) HELICS 協議会会則

議題：

1. 出席理事および議決権行使理事の確認 (資料1：出欠名簿)
2. 前回理事会の議事録確認 (資料2：議事録案)
3. 役員人事について
4. 新規申請の処理について

前回承認3団体：

- ・日本産業衛生学会産業保健情報システム研究会
- ・日本病院管理学会
- ・日本HL7協会 (資料3-1)

新規申請審議：

- ・個人会員の審議の方法について
- ・日本PACS研究会 (資料3-2)

5. 標準化指針への申請・審理手続について (資料4)
6. MEDISからの医薬品コードの申請の取り扱いについて (資料5)
7. 医療情報交換規約検討委員会の設置について

議事内容

- 1-1. 出席理事数の確認がされ、定足数を満たし、理事会の成立している旨が確認された。
MEDIS の斎藤氏から辻氏への理事交代が報告された。
- 1-2. 名簿（資料1）の小寺、松井、遠山、倉西理事の所属団体名を（社）日本医学放射線学会→（社）日本放射線技術学会に訂正する。
2. JIRA の吉村氏は理事会以後に理事登録がされたので前回議事録から名前を省き、議事録として承認された。
3. 大江会長より、副会長として石垣理事と尾崎理事に委嘱した旨の提案があり、承認された。また、会則に規定されている監事2名については、JIRAの大林氏の他にJSRTから1名推薦を依頼した。JSRTからは11月の理事会で承認を得た上で、正式回答する旨の意思表示があった。
4. 日本HL7協会、日本PACS研究会の新規入会が承認された。また、個人の入会申請については事務局で随時受付けて、理事会MLで報告することとなった。
5. HELICS 標準規格提案の申請手続き方法についての案が尾崎理事から説明があった。検討の結果に基づき修正を行った第2版を2週間以内にまとめることとなった。申請書の受理後の審査体制については木村理事が担当して原案作成することとなった。
6. MEDIS から提出された「標準医薬品マスター」の標準規格への採択申請については協議の対象とすることが決定され、ホームページで公示するとともに、協議のための委員会を設置することとなった。
本件の協議のための委員会の委員長は木村理事、委員はJAHIS、MEDISからの各1名で構成することとなった。
また、正式の申請は確定した申請様式で再度提出を求めることとなった。
7. 新たな加入を呼びかける候補団体として、日本臨床検査医学会、日本総合健診医学会が提案された。
8. 事務局からの報告として、銀行口座の開設、封筒の作成、各団体への年会費の請求などについて報告があった。
9. 大江会長から、急務である医療情報交換規約の動向を整理するための検討委員会の設置について提案があり、委員会の設置と当面大江会長が委員長を兼任することが了承された。

（事務局佐々木コメント）理事と監事との関係を整理する必要があると思います。会長、副会長は理事であり、理事の互選により選出されることで問題はないと思います。監事につきましては、会則12条によると、理事の互選によって選ばれることになっておりますが、通常理事と兼任することはありえないと思います。監事就任と同時に理事ではなくなると考えられます。そうなりますと、各幹事会員から4名以内の理事を登録できるという規定をどう運用するか確認しておく必要があると思います。（議決権は各団体毎に1票ですから、理事の数は必ずしも大きな意味を持たないかもしれませんが。）